

4月22日 全校朝会講話（要約）

入学式でこれから大切にしてほしい3つのキーワードについて話しました。「学ぶ」「つながる」「思いやる」です。

今日は、「学ぶ」について話します。

私は社会科を教えてきました。当たり前かも知れませんが中学生の時は社会科が得意でした。今から考えると中学生の時に人生の大半が決まっていたのかも知れません。少なくとも、中学校の時の学習が今に生きているわけです。

皆さんは何が得意かわかりませんが、皆さんのこの中学校の学習が将来の方向性に大きな影響を与えるのは間違いないと思います。多くの大人はそれを意識しているか、していないかの差はあると思いますが、中学校での学習や勉強が全く役に立っていないと考える人はいないと思います。

今、平成31年度（令和元年度）がスタートしました。この1年間、3年生は進路がかかっています。2年生は力を伸ばす絶好の1年となります。1年生は中学校での学習のペースをつかまなければならない1年になります。

有意義な学習にするために3つのことを大切にしてください。時間と 家庭学習と 学習規律です。

まず、1つは時間です。1時間1時間の授業の始まりの5分を大切にしてください。始まりの5分を大切にした場合といい加減にした場合の差はどのくらいになりますか。1日は6限ですので1日30分です。1週間は5日ですから、150分（2時間30分）です。1年間で授業日は35週間で計算していますから、150分×35週間で5250分、時間にすると87時間30分の差になります。2時間の家庭学習40日分になります。5分の積み重ねをバカにしてはいけません。部活動にも言えることです。

次に、必ず家で予習・復習をしてほしいと思います。目標は1時間以上必ず行うことです。昨年度は83%の人が毎日行ったというアンケート結果でしたが、大変立派だと思います。ちなみに一昨年は全国で67.9%、新潟県は62.4%という結果が出ています。私は社会科でしたが、社会科は復習が大切だと思っています。予習が一番大切な教科は英語だと考えています。教科書の単語を調べるだけでもなんとなくイメージが湧きます。そのぼんやりしたものが授業で意味が分かってくると楽しく授業が受けられます。ぜひ英語は単語を調べてから授業に臨んでください。他の教科については授業担当の先生に聞いてください。

3つ目は、学習規律、クラスの雰囲気です。私は中学校の学習は団体戦だと考えています。人間は思うほど強くありません。生徒会入会式の時に自主・自立の話をしました。中学校は自主・自立を身に付けるのが目的であるといいましたが、なかなか言うほど簡単でないのも現実です（まさに理想と現実のギャップです）。そこで、集団の力が必要になります。集団での学習の決まりを学習規律と言います。クラスのみんなで協力して学習規律を守り、一人ではなかなかできない学習へ向かう態度を身に付けてください。時にはグループで話し合い、実験や実習をする機会もあります。みんなで協力して、大いに学習成果をあげてください。

今日は、学びの成果をあげるための3つの願い「授業の始まりの5分を大切にする」「予習・復習をして授業に臨む」「学習規律を守る」について話をしました。小さな努力の積み重ねが大きな差になって表れてきます。

10連休明けには中間テストが控えています。学校は学習する場です。皆さんの将来にとって役立つ学習をしてください。

5月7日 全校朝会講話（要約）

天皇陛下の退位・即位にともない、30年ぶりの新たな元号が始まり、10連休というこれまでにない大型連休になりました。その間、多くの部で大会や練習試合が組まれたと聞いています。来週には中間テストもあります。学習に部活動に充実した日々を過ごしたのではないのでしょうか。ゆっくりしていたという人もいるかも知れません。4月は新しい環境で気が張っていた人にとってはいい休みにもなったと思います。

さて、今日はこの一年大切にしてほしい3つのキーワード「学ぶ」「つながる」「思いやる」のうちの「つながる」についての話です。

私がこの「つながる」というキーワードが大切だなと感じたエピソードがあります。

以前、ある高校に勤めていた先生の講演を聞く機会がありました。こんな話をしていました。「せっかく就職が決まっても3分の1の卒業生が3年以内で会社を辞めるんです。」どうしてなんだと、高校の先生が辞めた生徒たちから話を聞いたそうです。

結論からいうと、「分からないことがあったときに人に聞くことができない。年齢の違う人たちと会話をすることができない。」ことだったそうです。それからその先生は一方的な講義形式の授業ではだめだ、話し合いや年齢が異なる人と関わる場面を意識した授業をしていかなければならないと考え、学校全体でやり方を変えたそうです。

授業で学び合いの学習やファシリテーションを取り入れ、総合学習や行事では体験活動を多く取り入れたそうです。そのようにしたら、卒業してすぐに辞める生徒は大幅に減ったそうです。

皆さんは今成長期のまっただ中です。私は皆さんに、人とかかわって、つながって「人間性、たくましさ、郷土愛」の3つを身に付けて伸ばしてほしいと願っています。

文部科学省もこれからの変化の激しい未来を生き抜くためには今まで点数化していた「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」はもちろん大切だけれども、点数で表すことが難しい「学びに向かう力・人間性等」も大切だというスタンスをとっています。今年度から道徳を教科としたのもその流れの中にあります。

人とつながることによって、

- ・人の役にたったり、悪い事は悪いと判断し、正しい行動をしたり、人の気持ちを察知したり、難しい問題に直面したときも他の人と協力しながら解決することができるたくましく大きな人間になってほしいと考えています。

これと関連してもう一つあげれば、ふるさと出雲崎を大切にしてほしいということです。皆さんは地域から大切に育てられています。このふるさとに誇りをもって大きく成長してほしいと皆さんが願っているからです。地域の人とのかかわり、つながりを大切にして皆さん自身のたくましさと成長につなげてほしいと思います。

6月17日（月）に出雲崎大祭があります。地域と皆さんがつながる大切な機会ととらえています。部活動の大会間近で気になる面もありますが、今から準備をして地域のつながりと大会の両方をがんばってほしいと思います。

6月3日 全校朝会講話（要約）

6月になり、3年生にとって最後の中体連の大会が近づいてきました。燕市と西蒲原郡という昨年まで新潟地区であった郡市が中越地区に編入され、さらに激戦になることが予想されます。悔いのないように頑張ってください。また、その前には期末テストがあります。学習に部活動に本気で取り組む季節です。全力を出してください。

さて、6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」でもあります。新潟県では6月と10月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」として位置付けています。

なぜこのような取組を行っているかということ、いじめがなくなるからです。しかも、いじめられて苦しんでいる人が自ら命を絶つという悲しいできごとが県内でも起こっているからです。みなさんと同じ年ごろの人が、せっかくこの世に生まれ、長く楽しい人生も待っていたはずなのに、自らその夢も希望も捨てて命を絶つのです。どんなに切なかったのでしょうか。いじめは命に関わる人権侵害です。

世の中に命より大切なものはありません。命が返ってくるのなら、私は6年前にがんでなくなった兄に返ってきてほしいと思いますし、14年前に22歳で特急列車の脱線事故で亡くなったかつての教え子に返ってきてほしいと思っています。しかし、命は二度と返って来ないのです。

この一年大切にしてほしい3つのキーワード「学ぶ」「つながる」「思いやる」のうち最後に「思いやる」をあげたのがその理由です。

みなさんの誰もが、安心して楽しく学校に通いたいと願っているはずです。

ところで最近考えさせるニュースがあるアイドルグループの問題です。

結成当時、ある会合で「自分の学校にいた子が合格した」とか「〇〇は自分の妻のクラスの子だ」などと話題になったことがありました。話をきいた限りでは、彼女たちは非常に優秀で、それぞれの学校のリーダー格の子たちがオーディションで合格したという印象をもちました。なぜ、そのような子たちが集まった集団が今活動停止の状態になっているのか。事実はよくわかりませんが、あるメンバーが「正しいことをしている人が損をしてしまう世の中であってはいけないと思います。」と訴えていました。

- ・正しくないことをしている人がいて、おかしい雰囲気になっていたことが窺えます。
→ 集団への思いやりがないのです。
- ・1年前のある番組で、イニシャルを使って仲間の悪口を公然と言っている人がいました。
→ 当然集団の中での信頼関係が壊れます。
- ・最近では、情報モラルの認識が不十分で、正式のメンバーから外された人もいました。
→ 不用意にネット上に書き込みなどするものではないのです。

規範意識がなく、思いやりや配慮に欠け、情報モラルの意識が低いメンバーがいる。これでは集団としてのまとまりができるはずがありません。20歳前後の優秀な人が多く集まった集団でも問題が発生します。身近なところでも一歩間違えればトラブル、いじめ、仲間割れは起こりうるということです。学校が楽しくなくなります。

自動車の免許を取るときにはルールやマナーを学びます。

皆さんはスマホ・SNSのルールやマナーに配慮しているでしょうか。

使用時間は守っていますか。9時以降の電話はマナー違反です。10時以降の電話は何か不幸があったときの非常時です。メールも同じです。その認識があるでしょうか。

面と向かって言えないことは、メールで伝えてはいけないのです。それがマナーです。

思いやりの話からズレてしまいましたが、安易な考えと行動が取り返しのつかないトラブルやいじめにつながっていく可能性があるということを知ってほしいのです。

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です。思いやりをもって生活しましょう。

7月1日 全校朝会講話（要約）

7月になりました。1学期も残り1か月を切っています。生徒会では体育祭の準備も少しずつ始まっています。先週の生徒朝会では結束力を高めるレクリエーションもありました。楽しい体育祭にするためにも準備をしっかりとしてください。

部活動では2年生を中心とした新しいチームづくりが始まります。かなり気温が上昇してきます。熱中症には十分気をつけるよう、水分補給と適切な休憩をとってください。体調が悪くなった時は遠慮なく申し出てください。

さて、7月は新潟県では「夢創造、ナビゲーション月間」として位置付けています。小学校の段階から将来について考え、先生や家族との対話をとおして、自分自身の生き方をじっくり考える1か月にしようという取組です。

今、将来について考えさせ、それに向かった知識や技能、経験を積ませようとする学習を「キャリア教育」と呼んでいます。このキャリア教育が世間に広がってきたのは15年ほど前になります。しかし、将来を考える教育に力を入れるべきであるという意見は実はもっと前からあったのです。

その主な理由は2つあります。

一つはモラトリアム人間の存在です。20年前、30年前の中学生・高校生の中にはいい点数をとって、いい大学に入ろうとに一生懸命勉強した生徒がたくさんいました。生徒の数が多くて、大学の数が少なかったからです。ところが、いい大学に入った途端に目標を失って学ぶことを止める学生も多くいたんです。大学に何年も留年し、社会に出て何かしようという目標もなく、ただただ問題を先送りにするという人で、当時では「モラトリアム人間」と呼んでいました。

もう一つの背景は「今さえ楽しければいい」と言って将来の目標ももたずに安易に学校に通う生徒の存在です。目標を持たない生徒は、時にはまわりの人に迷惑を掛け、時には警察沙汰になり、あげくの果てには卒業時にどこにも行き場がなくなってしまうことになっていきます。「誰かが何とかしてくれる」という甘い考えをしていた人もいれば、中にはまずいと思いながらも、仲間はずれになるのがいやなものですからつるむしかない生徒もいました。いずれにせよ、自立できていないというのが根本の原因だと思います。

これらのことを踏まえて、将来のことを考え、目標をもって毎日を過ごさせるためのキャリア教育が広まってきました。

今、ちょうど社会にうまく適応できない40代、50代の人の事件が話題になっていますが、このような背景と関係しているようにも感じています。キャリア教育がまだ十分に機能していなかったのです。

出中では、主に総合学習の時間で1年生が職場体験、2年生が上級学校訪問、3年生が福祉体験を行っています。いずれも将来のことを考えるきっかけになってほしいと願っている取組です。

将来のことを考える取組は総合学習だけではありません。社会科では生き方を考えさせてくれる歴史上の人物が出てきますし、地理や公民では世界で活躍する人たちの紹介もあります。他の教科や道徳・学活でも生き様を考えさせる教材もたくさん出てきます。

「学校の授業や行事と、自分の将来や生き方をいかに結びつけて考えられるか」ということが大切だと思います。

7月は「夢創造、ナビゲーション月間」です。自分の将来のことを考えて、目標をもって生活し、夏休みにつなげましょう。